

質 疑

発言者 五 條 陽 子

発 言 の 要 旨 (その1)
1 あなぶきアリーナ香川に関連して
(1) 市道高松駅北線を含む周辺道路の車線数減や通行の制限等、運用変更に伴う地域への影響についての本市の受け止めと分析
(2) 本市として、現有の公共交通機関の輸送力で、1万人規模の波動的な輸送と市民生活の両立が可能か。
(3) 蓋を開けてみないと分からないでは、いつ起こってもおかしくない南海トラフ地震等の異常時の人流コントロールが、即応性をもって可能なのか。
(4) 本市としては、今後どのような手法で市民や事業者の声を吸い上げて、施策に反映していくのか。
(5) 小豆島からの来高者からは、タクシー乗り場が不便になったと聞いており、県・市で協力して瀬戸芸を前に、急ぎ何らかの対応をすべきと考えるがどうか。
(6) 道路廃止となると、道路法の定めにより本市の議会議決が必要となるが、本市の今後の進め方についてどのように考えるか。
(7) 法令で定められた道路標識の設置について、地域居住者以外の来訪者のために、より分かりやすく親切な表示を求めたいと思うが、いかがか。
(8) 市道高松駅北線において歩道と車道の区別がつきにくい、対面通行にもかかわらず車道の中心線がなく危険であるとの声をいただいているが、道路設置者として安全を担保すべき立場にある市の見解はいかかなものか。
(9) サンポート地区のタクシー事業者への駐停車禁止区間設定運用の周知徹底は、いつ頃どのようになされていたか。また、市民に対してもどのように事前周知をされたのか。
(10) 工事期間中には、視覚障害者の横断に資する点字ブロックを、工事用バリケードが塞いでいた事例も確認しているが、関連する事故はなかったのか。
2 にぎわい創出について
(1) サンポートエリアのにぎわいという掛け声にはそぐわない現状であるが、通年のにぎわいをどう創出していくつもりなのか、その道筋

発言の要旨(その2)

(2) 昨年の6月17日知事定例記者会見で、県知事が、暫定整備後の効果などを見ながら、当初考えていた最終的には全面通行止めという方針について、改めて判断したいと述べていたが、何を指標にどのように策定するのか、道路管理者たる本市として把握している方向性

(3) ほとんど人通りのない時間帯まで通行止めにして、地域住民に不便を強いる理由。また、現行制度の見直しと、さらなる改悪をやめるよう求めたいが市長の見解

3 電動キックボード試行について

サンポート地区において、自転車の駐輪禁止の場所が、電動キックボード事業者の駐輪場となっている理由

4 公共交通の一次アクセスと二次アクセスの円滑な関連性の構築について

(1) 巨額の市費を投じて設置された伏石駅バスターミナルが、朝夕の一部の時間帯を除いてはほとんど利用がないとの声があるが、実態をどう把握しているのか。また、利用促進につながる施策

(2) ことடன்新駅——多肥駅にも同様のバスターミナルをとという計画があると聞かすが、市民のニーズについて、どのように調査研究が進められてきたのか、その経緯

(3) 乗降客の少ない本市で新たに大規模なバスターミナルを設けても、バス路線や便数、利用者の増加が見込めなければ無駄な公共投資とならないか。

5 駐車場アプリ——どこ駐車ナビ高松について

(1) 市民から地図情報に間違いがあるという指摘があったが、市民に情報を提供する前に、地図情報を市として確認をするべきではないか。

(2) 駐車場の満空情報とカーナビを連動させる考え

6 防災について

(1) 災害・渇水等による断水時の生活用水、及び防火用水確保のため、手押しポンプ井戸の実態調査とさらなる増設を、本市独自に推進する考え

(2) 行政として狭隘な道路沿いの住宅密集地域に、公費で、初期消火を目指した屋外

